

## 会議録要旨

(1) 会議の名称	令和5年度 第4回越前市行財政構造改革推進委員会
(2) 開催日時	令和6年2月2日(金) 午後1時30分から午後2時50分まで
(3) 開催場所	越前市役所 3階 大会議室
(4) 出席委員氏名	稲継裕昭委員長、竹内直人委員、中田竜仁委員、井筒智子委員 前田聰一郎委員、山崎侑委員
(5) 欠席委員氏名	谷口真紀子委員、田中恵美委員、高崎昭彦委員
(5) 出席所管課職員 職氏名	越前市長 山田賢一、総合政策部長 奥山茂夫、総務部長 蒲久美子 総合政策部理事 横川裕康、デジタル政策課長 神門弘明 人事・法制課長 西野健一、総合政策部政策推進幹 三井貴人 総務部政策推進幹 辻川千智、企画財政課ウェルビーイング推進室長 兵信一郎 人事・法制課副課長 師田健一郎、人事・法制課副課長 松井成晃 人事・法制課主幹 清水健太、人事・法制課主幹 佐々木崇
(6) 会議議題	行財政システム改革プラン(案)について
(7) 傍聴者の数	3人
(8) 会議資料の名称	越前市行財政システム改革プラン(案)について・・・資料1 越前市行財政システム改革プラン(素案)に関するパブリック・コメントでの意見 について・・・資料2
(9) 会議の内容の 要旨	<p>資料に基づき事務局から提案を行い、委員から質問・意見・提言を頂いた。主なものは、次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の一つ「市職員の対応が良いと感じる市民の割合」について、接遇に関するサービスクオリティを問いているように思われる。市の意図としては、行政サービスそのものに対する問いであるので、設問を再考した方がよい。</li> <li>・プラン実現のためのプロジェクトに、「お役所言葉を無くしていく」とあるが、何をもって「お役所言葉」としているのか。</li> <li>・プランには「DX」という言葉が散りばめられているが、言葉の捉え方が世代によって異なる可能性があるため、イメージしやすいようにした方がよい。</li> <li>・「ウェルビーイング」を知らない人や、越前市にとっての「ウェルビーイング」はどのようなものかという疑問を抱いている人が、「ウェルビーイング」をイメージできるよう、資料の見せ方を工夫してはどうか。</li> <li>・成果指標が3つというのは少なくはないか。</li> <li>・成果指標の一つ「市職員としての仕事にやりがいを感じている職員の割合」の令和5年度参考値が51.7%とある。年代、性別、管理職であるかどうか等、どのような属性が分布してこの数値を形成したのかを分析、見える化できるとよい。</li> <li>・成果指標を、将来の政策改善に結び付けることが大事。</li> <li>・プラン実現のためのプロジェクトに「DXによる新たな広聴制度の仕組みづくり」</li> </ul>

	とあるが、そのような仕組みを考えているのか。
--	------------------------